

本 会 会 報

学会だより

訃報

本会名誉会員の野口彌吉先生は2月23日に逝去されました。享年102歳でした。先生は日本育種学会の創立に尽力され、また、長く名誉会員として本会の発展を見守って来られました。先生のご業績に深く敬意を表すると共に、天寿を全うされた先生が安らかに眠られることを心からお祈りいたします。

常任幹事会記録

開催日：平成14年3月2日

場 所：東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者：会長 武田和義、副会長 足立泰二、二宮正士、平田豊、平野博之、佐藤和広、大澤良、木庭卓人、辻本壽、中村郁郎、松田長生、矢野昌裕、西尾剛。

各常任幹事の経過報告を行った後、内規改正、予算案の検討、Breeding Science pdfファイルの取り扱いなどについて検討した。

幹事会

日時：平成13年3月31日14:00～18:00

場所：日本大学 生物資源科学部

出席者：会長 武田和義、副会長 足立泰二、新発田修治、大澤勝次、沢田壮兵、高畑義人、江頭宏昌、吉田薫、平野久、堤伸浩、平田豊、荻原保成、笹隈哲夫、原田久也、川上直人、長戸康郎、門脇光一、佐々英徳、久保山勉、高岩文雄、藤村達人、横尾政雄、山元皓二、倉田のり、島田多喜子、村井耕二、長谷川博、谷坂隆俊、森川利信、石井尊生、前川雅彦、田原誠、富田因則、山口聡、吉村淳、佐藤光、島本義也、西尾剛、大澤良、辻本壽、生井兵治、二宮正士、野村和成、平野博之、三位正洋、北野英巳、神山康夫、佐藤洋一郎、古田喜彦、松田長生、木庭卓人、佐々木卓治、藤垣順三、佐藤和広、矢野昌裕、岡正明、中村郁郎、松岡誠、貴島祐治、渡邊和男、根本博

オブザーバー：佐野芳雄、喜多村啓介

報告

各常任幹事から経過報告がなされた。

- (1) 会員数は3月20日現在、名誉会員10名、個人会員1860名であり、団体会員、海外会員および賛助会員を合わせた総数は2270名である。
- (2) Breeding Science 第51巻には原著37報、速報1、資料5報を掲載し、総計313ページであった。また、昨年11月からオンラインジャーナルによる閲覧が開始された。育種学研究第3巻には原著8報、ノート2報

を掲載し、50周年記念誌、特集、通信などを含め総計297ページであった。

- (3) 平成13年度秋季大会(九州大学)での講演総数は315題(うち取り消し2)であった。平成14年度春季大会(玉川大学)での講演総数は273題(うち取り消し1)であった。

議題

- (1) 平成14、15年度学会役員について：会長指名幹事10名および常任幹事13名が承認された。続いて員長および編集委員の承認、会計監事、日本農学会評議員および同運営委員の推薦を行った。(役員等は別項参照)
- (2) 平成14年度学会賞等選考委員として大澤勝次、原田久也、倉田のり、谷坂隆俊、吉村淳、平田豊の各氏が選出された。内規に従って、委員長は副会長の喜多村啓介氏となった。
- (3) 平成14、15年度シンポジウム委員として高畑義人、藤村達人、平野久、長戸康郎、荻原保成の各氏が選出された。委員の互選によって委員長は藤村達人氏となった。
- (4) 学術会議会員選考委員として原田久也、谷坂隆俊、長戸康郎、佐藤光の各氏を選出した。
- (5) 英文誌および和文誌の編集委員長を一本化する内規の改正案が了承された。
- (6) 総会議事事項として平成13年度決算報告、平成14年度予算案が検討された。
- (7) 平成15年度春季大会は千葉大学西千葉キャンパスで平成15年4月1(火)～3(木)日に開催されることとなった。
- (8) SABRAO2005大会の開催について育種学会として積極的に協力、共催する方向で検討することが合意された。

総会議事内容

- (1) 常任幹事経過報告
- (2) 平成13年度決算報告
- (3) 平成14年度予算案の審議
- (4) 会則改正(編集体制)
- (5) 会計監事の承認
以上いずれも異議なく了承された。

学会賞授賞式

日本育種学会賞

生井兵治氏：植物育種における受粉生物学の体系化
低アミロース小麦品種育種グループ：低アミロース系統「関東107号」の開発と高製めん適性小麦品種の育

成

日本育種学会奨励賞

近江戸伸子氏：超微細蛍光 *in situ* hybridization 法の開発とそれによるイネ遺伝子の物理マッピング

禹仙熙氏：生殖障害克服による自殖性ソバ系統育成に関する研究

平成 14, 15 年度日本育種学会役員等

会 長 佐野芳雄(北海道大学)

副会長 喜多村啓介(農研機構 作物研究所)

選出幹事

北海道：新発田修治，大澤勝次，沢田壮兵

東 北：高畑義人，江頭宏昌，新関稔，森宏一

関 東：平野久，笹隈哲夫，佐々英徳，荻原保成，原田久也，藤村達人，横尾政雄，山元皓二，高野哲夫，堤伸浩，長戸康郎，吉田薫，久保山勉，平田豊，門脇光一，高岩文雄，川上直人

中 部：倉田のり，松岡信，島田多喜子，村井耕二，中井弘和

近 畿：長谷川博，谷坂隆俊，森川利信，石井尊生

中国・四国：前川雅彦，田原誠，富田因則，山口聡

九州・沖縄：古庄雅彦，吉村淳，佐藤光

会長指名幹事

松岡誠(沖縄)，井出雄二，町井博明，山本義雄，渡邊和男，貴島祐治，中村郁郎，木庭卓人，矢野昌裕，根本博

常任幹事

庶 務：平田豊，堤伸浩，渡邊和男，吉田薫，貴島祐治

会 計：木庭卓人，門脇光一

英文誌：矢野昌裕，根本博

和文誌：谷坂隆俊，森川利信

集 会：中村郁郎，川上直人

会計監事

小巻克巳，大澤良

編集委員長

中島臯介

編集委員

J. Michael Bonman，古田喜彦，服部一三，林武司，廣近洋彦，池橋宏，石本政男，門脇光一，Gurdev S. Khush，岸野洋久，Andris Kleinhofs，小島昭夫，近藤禎二，倉田のり，三上哲夫，西村繁夫，大西近江，岡崎桂一，奥野員敏，大村三男，佐藤洋一郎，高畑義人，武田和義，友岡憲彦，渡邊和男，

日本農学会評議員：佐野芳雄，喜多村啓介

同上運営委員：吉田薫

平成 12 年度決算(案)および 13 年度予算(案)

収入の部	平成 13 年度決算	平成 14 年度予算
1. 前年度繰越金	3,144,572	3,028,923
2. 会費会費	19,090,000	18,830,000
3. 賛助会費	1,520,000	1,650,000
4. 助成金	3,000,000	1,600,000
5. 別冊等頒布	3,751,930	3,564,000
6. 雑収入	3,939,941	2,402,000
7. 寄付金	396,146	0
8. 運営基金より繰入	0	0
合 計	34,842,589	31,074,923

支出の部	平成 13 年度決算	平成 14 年度予算
・ 事業費	20,642,395	19,030,000
1. 雑誌刊行費	12,449,090	12,700,000
2. 別冊刊行費	3,056,075	3,130,000
3. 大会費	2,600,000	1,200,000
4. プログラム等発送費	-	600,000
5. シンポジウム費	400,000	400,000
6. 学会賞費	1,559,730	500,000
7. オンライン費	-	500,000
8. 名簿作成費	577,500	0
9. 選挙費	0	0
・ 運営費	10,271,271	10,460,000
1. 学会分担金	303,408	200,000
2. 雑誌購入費	0	-
3. 学術会議関連費	260,000	300,000
4. 事務担当者手当	280,000	280,000
5. 事務費	3,800,000	3,900,000
1) 庶務	1,000,000	1,100,000
2) 編集	2,200,000	2,200,000
英文誌	1,500,000	1,500,000
和文誌	700,000	700,000
3) 集会	400,000	400,000
4) 会計	200,000	200,000
6. 事務委託費	4,620,000	4,620,000
7. 通信費・送料	714,274	800,000
8. 付属印刷物	227,850	300,000
9. 雑支出	65,739	60,000
・ 予備費	-	1,584,923
・ 次年度へ繰入	3,028,923	0
・ 運営基金へ繰入	900,000	0
・ 学会賞基金繰入	0	0
・ 50周年基金繰入	0	0
合 計	34,842,589	31,074,923

基 金	平成 13 年度決算	平成 14 年度予定
運営基金	20,900,000	20,900,000
学会賞基金	3,250,000	3,229,000
50周年記念基金	-	1,058,735
50周年記念事業特別会計	1,458,735	-

平成 13 年度化学素材研究開発振興財団記念基金「 Grant 」研究奨励金候補者募集

化学またはバイオの素材に関する基礎・応用研究利用技術開発に携わる有望な研究者を対象とする。交付時点

において50歳未満で、協会の会員(個人会員, または賛助会員会社・維持会員会社の役員・従業員)であること。奨励金は1件50万円で10件以内。応募に際して規定用紙に研究題目と概要, 略歴, 研究論文リスト等を記載する必要がありますので, 所属・氏名・送付先を明記の上, 財団法人バイオインダストリー協会(担当: 平野, 青木)に用紙を請求して下さい。なお, 応募用紙は <http://www/jba.or.jp/> からダウンロードできます。〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-26-9 グランデビルディング8F TEL 03-5541-2731 FAX 03-5541-2737。書類提出締切りは平成14年7月12日(金)必着です。

EUCARPIA 2003, Meeting on Leafy Vegetables Breeding and Genetics

19-21 March, 2003, Noordwijkerhout, Holland. Contact address: EUCARPIA Leafy Vegetables 2003, Leids Congress Bureau BV, Post Office box 16065, 2301 GB Leiden, The Netherlands, Tel: +31-71 514 82 03, Fax: +31-71 512 80 95, E-mail: info@leidscongresbureau.nl (subject; EUCARPIA Leafy Vegetables 2003).

ホームページアドレス <http://www.LeafyVegetables.nl/>
 なお, 詳細をご希望の方は庶務幹事 貴島祐治(北大農) kishima@abs.agr.hokudai.ac.jp までご連絡下さい。

エダマメ研究会第一回研究集会「枝豆生産の問題点の把握と技術振興に関するワークショップ」

会場: 山形大学農学部(山形県鶴岡市若葉町1-23)
 日時: 平成14年8月23日(金)13時から24日(土)12時00分まで
 参加費: 参加費2,000円。研究会の年会費2,000円
 申し込み方法: 参加は自由ですが, 宿泊, 懇親会などの希望を取りますので, 7月15日までに参加希望者名とその連絡先をお知らせ下さい。
 詳しくはホームページ: <http://edamame.ac.affrc.go.jp/> (6月下旬以降)をご参照下さい。
 なお, 本ワークショップの終了後, 「枝豆サミット2002 in 鶴岡」が開催されます。日時: 平成14年8月24日(土)13:30-16:45 場所: 鶴岡市中央公民館(鶴岡市みどり町)参加費: 無料(事前の参加申し込みは不要)主催: 園芸学会, 東北支部/鶴岡市
 問い合わせ&申し込み先: 山形大学農学部 江頭宏昌
 Tel: 0235-28-2852, E-mail: egashira@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

第20回日本植物細胞分子生物学会・シンポジウム

会期: 2002年7月29日(月), 30日(火)
 会場: 帝塚山大学, 学園前キャンパス並びに奈良市西部会館市民ホール(学園前ホール)ともに奈良市, 近鉄学園前駅(南出口)よりすぐ。

7月29日(月)午後 会場: 帝塚山学園大講義室
 「生活を彩る植物成分の生合成」
 「最近の植物組織培養について-実用と課題-」
 7月30日(火)午後 会場: 学園前ホール及び帝塚山学園大講義室
 「ポストゲノム時代のブレイクスルー技術」
 「耐病性の分子機構と作物への応用」
 また, 7月28日(日)に市民向けに下記の公開フォーラムを行います。
 「植物はどこまでわかったか-植物科学の現状と夢」
 日時: 2002年7月28日(日) 午後1時~5時(予定)
 場所: 奈良市西部会館市民ホール(学園前ホール)
 公開フォーラムの参加費は無料で参加登録も必要ありません。
 詳細は学会ホームページ: <http://gtcw3.aist-nara.ac.jp/sano/sympo/index.html> をご参照ください。
 問い合わせ: 筑波大学農林学系(そ菜花卉研究室)半田高 Tel: 0298-53-4796, E-mail: thanda@anet.ne.jp または thanda@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

平成13年度北海道支部会・例会・シンポジウム・札幌農林学会(年次講演会: 日本作物学会北海道談話会との共催)

1) 例会

第201回 平成13年3月22日 於 北海道農業試験場

Russian low temperature pathogenic fungi:

Oleg B. Tkachenko(ロシア科学アカデミー中央植物園)

糸状菌が低温で産生する新規セルロース:

寺見文宏(北海道農業試験場)

雪腐病菌の子実体形成:

川上 躰(北海道農業試験場) 2) シンポジウム

2) 年次講演会

平成13年12月1日 於 北海道大学農学部

キンギョソウ *beni* locus のトランスポゾンタギング(樋浦里志・戸崎富哉・三上哲夫・貴島祐治) キンギョソウ花色分離集団における *nivea* と *beni* の構造解析(戸崎富哉・樋浦里志・三上哲夫・貴島祐治) トランスポゾン *Tam3* の転移酵素活性検定法の確立(園田陽・橋田慎之介・三上哲夫・貴島祐治) ストレス環境におけるコムギとイネの *cox2* 遺伝子の転写解析(栗原志保・松葉修一・植原愛・下坂悦生・半田裕一) イネ着色遺伝子における多様性の解析(齋藤久美・大西一光・佐野芳雄) イネ *epsps-rps20* 領域で検出された培養変異の分子遺伝学的研究(野呂祐司・小林聡・貴島祐治・佐野芳雄) イネ雑種不稔に関する多様な遺伝子作用の再確認(西本大祐・大西一光・長野宏則・貴島祐治・佐野芳雄) 熱帯産野生イネと北海道品種の組換え自殖系統を用いた低温抵抗性の解析(石郷岡典子・大西一光・佐野芳雄) 浮稲品種より見出された深水耐性遺伝子の遺伝解析(地子

立・長野宏則・佐野芳雄) イネの発育過程におけるキャナライゼーションと発育不安定性の動態(伊藤勇樹・佐野芳雄)異なる土壌水分条件下における陸稲4品種の気孔密度(谷英雄・佐藤浩子・岩間和人・長谷川利拓)異なる土壌水分条件下における陸稲4品種の気孔コンダクタンスと群落表面温度(佐藤浩子・谷英雄・岩間和人・長谷川利拓)物理ストレスを受けたイネの生育特性変化について(渡邊明・秋本正博・本江昭夫)マツタケから見出された抗菌性タンパク質の精製と遺伝子のクローニング(高倉由光・桑田茂)ダイズ茎疫病抵抗性のDNAマーカー探索について(田澤暁子) AFLPに基づくテンサイ(*Beta vulgaris* L.)連鎖地図作成の試み(橋本暁廣・久保友彦・三上哲夫) DNAマーカーによるテンサイそう根病抵抗性の選抜(佐藤毅・楠目俊三・紙谷元一・竹内徹)小麦カタラーゼ遺伝子を導入した形質転換イネの過酸化水素濃度およびその除去系酵素への低温の影響(相馬ちひろ・猿山晴夫)イネ蒴の浮遊培養-カルスからの植物体再分化率を向上させる二つの培養操作-(岡本吉弘・木下厚・石村櫻・佐竹徹夫)イネの低温成長性,低温クロロシス及び低温傷害枯死に関するQTLの解析(加藤明・Zhan Qingcai)小麦品種および染色体置換系統における小麦粉色相と品質関連形質との関係(藤田由美子・高田兼則・西尾善太・三浦秀穂・桑原達雄)コムギ胚乳アミロース合成におけるWx遺伝子の量的効果と相互作用(Wickramasinghe, H.A.M.・三浦秀穂・沢田壮兵)コムギ種子発芽におけるアブシジン酸感受性に関わる遺伝子の座乗染色体(安野奈緒子・長学・森正彦・加藤清明・三浦秀穂)小麦粉生地物性に関連する低分子量グルテニンの二次元電気泳動による解析(船附稚子・高田兼則・加藤明・斉藤浩二・桑原達雄・西尾善太・山内宏昭)当麻町における水稲湛水直播栽培導入の現状と課題(藤田雅久・五十嵐俊成)当麻町における水稲湛水直播の収量に及ぼす施肥方法と土壌条件の影響(五十嵐俊成・藤田雅久・三浦周)北海道の水稲湛水直播栽培における落水出芽法の適応性について3)側条施肥の効果と問題点(田中英彦,古原洋,渡辺祐志)秋播ライコムギの越冬性 第1報 播種期が初冬の耐凍性,越冬個体率に及ぼす影響(義平大樹・唐澤敏彦・中司啓二)秋播ライコムギの越冬性 第2報 秋播性程度と初冬の耐凍性との関係(米田瞳・義平大樹)秋播ライコムギの越冬性 第3報褐色雪腐病抵抗性(津川香里・義平大樹・宮川栄一・岡本英竜)江別市におけるライムギの生育,収量性の品種間差異(永山雅幸・義平大樹・山本嘉彦)秋まきコムギにおける穂発芽耐性要因の分類(厩田淳史・鈴木孝子・柳沢朗)秋まき小麦品種における穂発芽抵抗性の改善 III 穂発芽抵抗性と低アミロ耐性(西村努・柳沢朗)秋まき小麦品種における穂発芽抵抗性の改善 IV. 秋まき小麦選抜系統と穂発芽耐性春まき小麦との比較(柳沢朗・西村努・中道浩司)穂発芽極難小麦の検定法について(鈴木孝子)春播コムギの

初冬播栽培 3. 越冬性の優れる春播コムギの選抜(佐藤導謙)北海道における春まき小麦の赤かび病抵抗性検定と抵抗性遺伝資源の評価(荒木和哉・佐藤導謙・西尾善太・田引正・中道浩司・柳沢朗)チベット高原南部における冬コムギの生育と収量(岩間和人・王秀峰・藤村恵人・長谷川利拓・実山豊)CO₂倍増が中国チベット高原における春コムギの光合成速度におよぼす影響(藤村恵人・岩間和人・王秀峰・長谷川利拓・実山豊)東アジア産ゲンゲ属植物の遺伝的変異と系統分類(渡辺圭・秋本正博・土田勝一・本江昭夫)ホクシンと赤かび病抵抗性中間母本の組換え自殖系統による赤かび病抵抗性の遺伝解析(西尾善太・高田兼則・桑原達雄・坂智広)雪腐黒色小粒菌核病の圃場接種による秋まき小麦雪腐病抵抗性系統の選抜(吉村康弘・厩田淳史・菅原章人・新発田修治・柳沢朗) *Aegilops cylindrica*における雪腐病抵抗性(入来規雄・川上顕・吉田みどり・渡部信義)ばれいしよ疫病抵抗性組合せの後代検定(池谷聡・大波正寿・入谷正樹・伊藤武)土壌水分ストレスがバレイシヨマイクロチューバーの生育および収量に及ぼす影響-二年間の結果-(カワカミ ジャクソン・岩間和人・長谷川利拓・実山豊・杉原京平)バレイシヨのマイクロチューバーにおける器内生成条件の検討(三口雅人・津田昌吾・森元幸)マイクロチューバーによるバレイシヨと大樹町におけるバレイシヨの生育特性の比較(津田昌吾・小林晃・高田明子・森元幸)真正種子播きバレイシヨ品種育成への試み(小林晃・保坂和良・高田明子・津田昌吾・森元幸)分解合成育種法によるばれいしよ有望系統の育成(高橋ルミ子・熊谷利恵子・三上晃一郎・安田真一・武田紀美・長谷川明彦)隔離温室内の小馬鈴薯生産と後世代の生産力について(村田隆・田中智)馬鈴薯における加工特性の品種間差(小川慶一・田中智)バレイシヨ栽培品種における深さ別の根の量と活性(伊藤香織・蝦名恵利華・岩間和人・実山豊・長谷川利拓)根系の垂直分布と登熟過程の関係からみた秋播きコムギの収量性(伊藤博武・野間田研司・林茂樹・山崎耕宇・小松輝行)群落表面温度による作物の耐旱性評価の妥当(福岡峰彦・佐藤浩子・谷英雄・岩間和人・長谷川利拓・実山豊)草型の異なるサイトウ品種の高CO₂条件に対する反応(静野愛・木村園子・田島亮介・信濃卓郎・由田宏一・中嶋博・大崎満)高CO₂条件がサイトウの光合成産物の蓄積および転流に及ぼす影響(木村園子・田島亮介・信濃卓郎・由田宏一・中嶋博・大崎満)サイトウおよびアズキにおける窒素吸収と土壌硝酸態窒素の関係(田島亮介・木村園子・由田宏一・中嶋博)アズキ品種の普及に関する研究第2報品種の普及速度と寿命(佐藤久泰・沢田壮兵)テンサイ育種試験における精密播種機の利用 第3報直播条件におけるテンサイ一代雑種の欠株とその補償効果(田口和憲・大瀧直樹・田中征勝)テンサイ種子の胚数性の遺伝に関する研究 第7報実用レベルにおける一代

雑種子の複胚珠性(大瀧直樹・高橋宙之・田中征勝) テンサイ一代雑種の直播条件における出芽と構成系統の関係(高橋宙之・大瀧直樹・田口和憲・岡崎和之・田中征勝)室内人為接種によるテンサイ黒根病の発生程度(岡崎和之・大瀧直樹・田中征勝)プライミング処理によるテンサイ種子の糖含量変化と直播栽培における生育・収量の向上(六笠裕治・山内宏昭)ロシア起源の新しい単胚性の遺伝解析(コンドラシキン ユーリ・阿部純・島本義也)緑度保持能力が異なるトウモロコシ品種の生産性の比較(田中宏樹・梶原靖久・長谷川利拓・岩間和人・実山豊)スイートクローバのクマリン含量に対する刈り取りストレスの影響について(大久保友子・秋本正博・本江昭夫)雑草の種子生産性に対する刈り取りストレスの影響について(竹内裕一・秋本正博・本江昭夫)アマランサスにおける栽植密度の効果(本田裕・六笠裕治・鈴木達郎)畑作雑草の生理・生態の変異の評価(石川枝津子)数種作物の発芽におよぼす乾燥と温度の影響(上埜喜八)ソバによる雑草の抑制(横山大理・我妻尚広)三要素肥料がソバの生育・収量におよぼす影響(茂野朋昭・我妻尚広)ソバ殻(有機性廃棄物)の有効利用(山田靖子・我妻尚広)畑作地帯におけるダットンソバの最適播種期(鈴木達郎・本田裕・六笠裕治・中司啓二)2001年上川地方で発生した大豆品種「トヨコマチ」の白点症状(仮称)について(神野裕信) / ダイズの臍周辺着色の遺伝と選抜反応(湯本節三)近赤外分光分析法によるダイズの遊離型全糖に関する簡易測定法(山崎敬之・鈴木千賀・黒崎英樹・湯本節三)生殖生長期の温度が毛茸色に関する同質遺伝子系統ダイズの臍色および種皮色に及ぼす影響(黒崎英樹・湯本節三) / ダイズの密植栽培における主茎型及び早生系統の収量反応(田中義則・湯本節三)パラグアイ共和国地域農業研究センター(CRIA)育成ダイズシストセンチュウ抵抗性系統のDNAマーカー解析(紙谷元一・Carlos Chaves・Antonio Altamirano・土屋武彦)栽培ダイズに優占的な細胞質ゲノムを有するツルマメの特徴およびその起源(坂本晋一・阿部純・金澤章・島本義也)

日本育種学会会員異動(2002.1.24 ~ 2002.4.23)

普通会員入会：千徳直樹，竹内徹(北海道)，齋藤美香(岩手)，河野雄飛(秋田)，井戸沼淳子，蒲池伸一郎，佐古彩，佐藤浩二，清水武彦，正村純彦，中谷誠，那須

忍，山田朋宏(茨城)，山田剛(東京)，原靖英(神奈川)，丸山一成(新潟)，小島洋一朗，山本良孝(富山)，石川武之甫(福井)，鈴木温(静岡)，小堂直彦(京都)，都琴淑(大阪)，寺島和寿(鳥取)，谷中美貴子(広島)

学生会員入会：西谷篤，石崎琢磨，齋藤久美，高木恭子，西本大祐(北海道)，倉田裕介，倉橋和歌子(青森)，中田睦(岩手)，木村理沙，田中孝尚，藤本龍(宮城)，森田敦雄(山形)，佐藤淳(茨城)，伊藤裕章(埼玉)，板倉優子，小川大輔，小川洋一，平野智也(千葉)，叢花，石川元一，栗田加奈子，田邊麻衣子(東京)，飯田竜資，酒井正彦，寺脇維，中尾紀美子，長岡祐，藤本かずみ(神奈川)，清水智章，萩田浩子，濱絵里子(福井)，太田智，金森建，竹内淑子(静岡)，荒木良一，奥ゆかり，野見山誉(滋賀)，小川孝之，佐々木浩之，山平諭，湯口雅大(京都)，北川師士，鳥居明英，水本公大，森本涼子(兵庫)，福元健志(奈良)，大森良弘，松井和幸(和歌山)，郷原匡史(鳥取)，大西成人，馬場利邦(広島)，岡洋一，尾上慎一，永井康子(福岡)，西本慎一(鹿児島)

団体会員入会：独立行政法人農業生物資源研究所企画調整部情報資料課大わし図書室(茨城)，岐阜県立森林文化アカデミー(岐阜)，愛知県農業総合試験場作物研究所育種研究室(愛知)，兵庫県立淡路景観園芸学校図書室(兵庫)

外国会員入会：Hyo-Jung Sohn，朴英姫(大韓民国)，Kaiyun Guan，Yuanxue Lu，金文林(中華人民共和国)

住所変更等

普通会員：池田亮，松川勲(北海道)，深沢(赤田)朝子(青森)，石川吾郎，小田中浩哉，清水恒(岩手)，山田哲也，山中直樹，由井里香，渡邊純子(茨城)，禹仙熙，斎藤宏之(埼玉)，山本敏央(千葉)，坂本知昭，豊福恭子(東京)，高柳りか(神奈川)，本多一郎(三重)，久保中央(京都)，長野美織(大阪)，加藤恒雄(和歌山)，辻本壽(鳥取)，柳沢貴司(香川)，西口正通(愛媛)，尾崎行生(福岡)，溝淵律子(旧姓：福岡)，安長知子(福岡)，落合雪野(鹿児島)

学生会員：園田裕(北海道)，竹久妃奈子(宮城)，新田みゆき，山中慎介(茨城)，石川亮(奈良)，古川一実(愛媛)

外国会員：Kenji Fukunaga(国内より外国へ)(U.S.A.)